



令和5年度 八鹿青溪中学校の教育

学校教育目標

ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成

○校区内4小学校（高柳小・八鹿小・伊佐小・宿南小）との一貫教育の推進

【9年間を通して取り組む5つの力点】

- ①挨拶（語先後礼）返事ができる ②全力でそうじをする ③はきものをそろえる
④そうあんくんの日の取組を進める ⑤地域活動に積極的に参加する

【めざす15歳の姿】

- 勤労を尊び、夢や目標を持って誠実に粘り強く取り組む子
○課題の発見・解決に向け、自ら学び、考え、高め合い支え合える子
○ふるさと養父市の未来を見据え、地域に主体的に参画しようとする子



● **貫徹** 困難に負けずやり抜く
(青春の立志像)

● **慎独** 自己を律し勉学に励む
(池田草庵先生の教え)

● **創造** 新しい伝統の創造
(協同し自他に誇れる学校を創る)

実践①「貫徹タイム」無言工夫清掃
実践② 学習や部活動をやり抜く
自己実現（自立）をめざす人づくり

実践①「慎独タイム」朝の読書活動
実践②「そうあんくんの日」の推進
自律した人づくり

実践①「語先後礼」（分離礼）の実践
実践②「創造」する生徒会活動
地域の核となる学校づくり

【生徒会スローガン】

「Let's try ～『やってみる』を始めよう～」



1) 自立して未来に挑戦する態度の育成

- 校訓を活かした教育活動の推進
 - ・校訓の理念を互いに共有する取組の実践（「貫徹坂」・「慎独の道」・「創造の庭」で心を育む取組等）
- 「あたり前のことがあたり前にできる生徒」の育成を図る。
 - ・基本的な礼節、無言工夫清掃、時間励行等
- 主体的活動と「自己教育力」を促し、自立心を高める。
 - ・生徒会活動、学年・学級活動、部活動における主体的活動、自治的活動の推進
- 2) 「生きる力」を育む教育の推進
 - 「確かな学力」の育成
 - ・「主体的・対話的で深い学び」となる授業の創造
 - ・情報活用能力の育成、ICTを活用した学習指導の充実
 - ・授業規律（返事、ハキハキとした発言等）の徹底
 - 「豊かな心」の育成
 - ・心に響く道徳科での学び、命の尊厳や人権尊重の精神、規範意識を高める教育の推進
 - ・兵庫の防災教育、国際理解教育、伝統・文化活動、福祉活動の充実
 - ・やぶふるさとキャリア教育、兵庫型体験教育の充実
 - 健やかな体の育成
 - ・体育科授業や部活動を中心とした体力・運動能力の向上
 - ・保健指導・性教育、感染症対応の充実
 - ・栄養教諭や家庭と連携した食育の推進
 - 特別支援教育の充実
 - ・特別支援学級、通級指導の充実

○小中一貫教育の推進

- ・9年間の学びの連続性を意識した教育の推進

3) 子どもたちの学びを支える環境の充実

- 学校の組織力の強化と生徒指導の充実
 - ・生徒会活動や学級活動での人間的ふれあいによる指導
 - ・いじめ、問題行動、不登校などの未然防止、早期発見、対応
 - ・ネットメディア利用についてのルール作りと指導の徹底
 - ・関係機関との連携の強化（警察、SC、SSW、保健、地域など）
- 家庭と地域による学校と連携した教育の推進
 - ・学校運営協議会を核にした地域人材の活用と地域活動（クリーン作戦・防災避難訓練等）へ積極的参加
- 教職員の資質・能力の向上
 - ・「チーム八鹿青溪」で同僚性の醸成
 - ・風通しの良い職場環境づくり、共通理解・共通実践の徹底
 - ・教育公務員としての自覚と倫理観の保持、「No体罰」等を用いた研修の充実
 - ・勤務時間の適正化、会議時間の短縮、定時退勤日の徹底



